

江東区立深川第一中学校

住所 〒135-0004 江東区森下4-9-22
 電話 03-3631-3241
 FAX 03-3631-3803
 校長 小山 千景
 副校長 滝瀬 泉
 教職員数 22名



	1年	2年	3年	特別支援	合計
生徒数	37	63	47	10	157
学級数	2	2	2	2	8

◇ 沿革 昭和22年4月1日江東区立深川第一中学校として設立 昭和52年新校舎完成
 平成21年度 耐震補強および内装工事完了 開校79周年

◇ 教育目標

人間尊重の精神を基盤として、予測困難な社会を力強く生き抜き、持続可能な社会の担い手となりうる人間の育成を目指して、次の目標を設定する。

一、自主 一、自立 一、貢献

◇ 学校経営の重点

- 1 インクルーシブ教育を基本とした生徒理解と支援で豊かな人間性を育成
- 2 学力の向上〈基礎基本の徹底と生徒個々の能力の十分な発揮〉
- 3 地域とともにある学校づくり（地域学校協働本部と連携した生徒の育成）

◇ 交通案内図



- ★都営地下鉄新宿線
「菊川駅」下車徒歩5分
- ★東京メトロ半蔵門線
「清澄白河駅」下車徒歩10分
- ★都営バス 業10系統
「森下五丁目」下車徒歩1分



運動会（墨田工科高校校庭）



合唱コンクール（本校体育館）



修学旅行（京都・奈良）

一中の特色を紹介！

○ 深一学

総合的な学習の時間では、生徒が自ら課題を設定し自ら追求する「深一学」を実施して次の6つの能力・態度を育みます。

- ・コミュニケーション力
- ・情報を発信する力
- ・多面的・総合的に考える力
- ・批判的に考える力
- ・未来を予測し計画を立てる力
- ・他者と協力し尊重する態度

○ いじめゼロDGs

生徒会が「深川一中いじめゼロDGs」～いじめのない学校をつくる17の目標～を掲げ、よりよい学校づくりに取り組んでいます。

○ 伝統芸能の体験学習

和楽器の実習を通して日本の文化を深く理解し、国内外に向けて発信していける知識を身に着けます。

○ F1ガーデン・F1フラワー e t c

地域学校協働本部と連携して緑化活動や花づくり、各種検定などさまざまな活動を実施しています。

○ 部活動

バスケットボール部・陸上部・女子バドミントン部・男子硬式テニス部・吹奏楽部・美術部・チャレンジ部



江東区立深川第二中学校

住所 〒135-0041 江東区冬木 22-10
 電話 03-3641-2877
 FAX 03-3642-6897
 URL <https://fuka2-chu.koto.ed.jp/>
 校長 和田 総治
 副校長 河村 英明
 教職員数 27名



	1年	2年	3年	合計
生徒数	130	108	132	370
学級数	4	3	4	11



◇沿革 昭和22年4月開校 [卒業生総数：17,392名]
 平成29～30年 スーパーアクティブスクール指定校
 令和4年～5年 大規模改修工事
 令和6年～ コミュニティ・スクール

◇教育目標 (キーワード)

自立 共生 協働

(チャレンジ リスペクト チームワーク)



下町深川の良き気質に囲まれた中で、
 わたしたちは人・物の文化・伝統を
 最大限に生かします。



◇学校経営理念

現代の国際社会の中で希望をもって自他を生かそうとする生徒を育成する

◇スローガン We are The Second ～自負と誇り～

◇生徒が身につけるべき「六花」

3つの特性・主体性・傾聴性・協調性 3つの能力・実行力・表現力・創造力



創立70周年記念
 深川二中キャラクター
 『ふかりこやー』



〈最寄り駅〉

- ◆東京メトロ東西線・都営地下鉄大江戸線「門前仲町駅」下車 徒歩 9分
- ◆東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄大江戸線「清澄白河駅」下車 徒歩 10分
- ◆都営バス「門33系統」「深川二丁目」下車 徒歩 6分



＜部活動＞

- ・陸上競技
- ・女子バレーボール
- ・男子バスケットボール
- ・女子バスケットボール
- ・野球
- ・卓球
- ・剣道
- ・サッカー
- ・美術
- ・吹奏楽
- ・競技かるた
- ・ボランティア
- ・華道

江東区立深川第三中学校

住 所 〒135-0044 江東区越中島3-7-1
電 話 03-3641-5948
FAX 03-3820-4705
URL <https://fuka3-chu.koto.ed.jp>
校 長 月 田 行 俊
副 校 長 内 田 美 穂 子
教職員数 33名



	1年	2年	3年	合計
生徒数	169	185	176	530
学級数	5	5	5	15



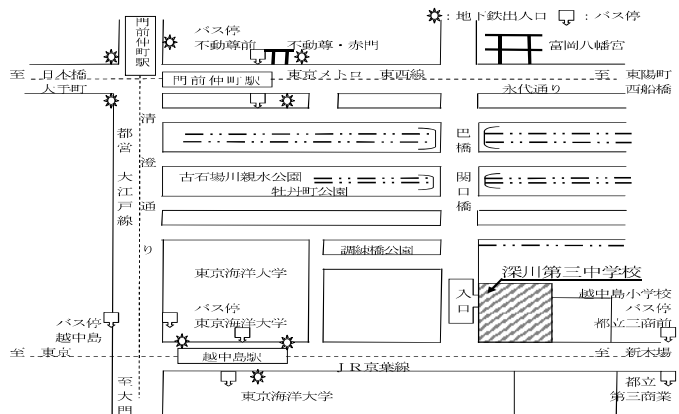
◇教育目標

「人間尊重の精神に基づき、真理と平和を愛し、国際的視野に立った人間性豊かな生徒の育成を目指す」

○ 自主・自立 ○ 気品・誠実 ○ 気力・体力 ○ 社会貢献



◇交通案内図



<最寄り駅>

- 東京メトロ東西線門前仲町駅 徒歩 8分
- J R京葉線越中島駅 徒歩 3分
- 都営大江戸線門前仲町駅 徒歩 10分

◇令和7年度 卒業生進路状況

種 別		合 計
高 等 学 校 進 学 者	国公立	84名
	私 立	111名
その他 専修学校等		3名
合 計		198名

◇令和7年度：部活動と大会等の主な結果 (大会・コンクールがあった部活動のみを掲載しています)

部 活 動 名	主 な 実 績 (秋・冬・春)
陸上競技部	南関東大会出場 (共通男子200m)、都大会 (3年女子3000m 1位 1年男子リレー2位 共通女子1500m 7位 1年男子100m 7位など)
野球部	江東区秋季新人シード権大会準優勝 江東区秋季新人大会3位 江東区夏季シード権大会 出場
サッカー部	江東区秋季大会第5位 第6支部大会出場
女子ソフトテニス部	江東区中学校春季大会、夏季大会、秋季大会、1年生大会、冬季研修大会出場
男子バスケットボール部	東京都中学校総合体育大会バスケットボール大会 出場
女子バスケットボール部	江東区中学校秋季バスケットボール大会ベスト8
女子バレーボール部	江東区夏季大会6位 第6ブロック夏季大会2回戦進出 江東区秋季新人大会7位 第6ブロック新人大会2回戦進出
バドミントン部 (男子)	江東区秋季大会 団体準優勝 ダブルス第1位
バドミントン部 (女子)	江東区夏季大会 団体準優勝 シングルス第4位 ダブルス第3位
剣道部	江東区夏・秋・冬大会女子団体2位 第6ブロック夏・秋季大会女子団体ベスト8 秋季都大会女子団体2回戦進出 江東区冬季大会男子団体2位
水泳部	第65回全国中学校水泳競技大会 男子4×100m メドレーリレー及び50m自由形 出場、第73回東京都学年別水泳競技大会 2年男子総合第3位
吹奏楽部	第65回 東京都中学校吹奏楽コンクール B組金賞、アンサンブルコンテスト銀賞
演劇部	江東区中学校連合芸能会 優秀賞 演技個人賞

*その他の文化系の部活動や運動種目、公募も含めた各種コンクールでも多くの生徒が活躍しています。

江東区立深川第四中学校

住所 〒135-0015 江東区千石1-12-12

電話 03-3644-3077(代)

FAX 03-5690-4032

URL <http://fuka4-chu.koto.ed.jp>

校長 関根 淳之

副校長 五十嵐 利佳

教職員数 36名



令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	特別支援学級	合計
生徒数	191	187	161	25	564
学級数	6	5	4	4	19



◇ 沿革

昭和22年4月19日開校 開校79年目

◇ 教育目標

- 「英知」 自ら学び考える生徒
- 「博愛」 自他を愛する生徒
- 「壮健」 健やかな心身を保つ生徒

◇ 経営方針

1 目指す学校像 ～生徒・教職員に笑顔あふれる深川四中～

- 生徒一人一人が学校生活を楽しんでいることができる学校
- 生徒一人一人が大切にされる魅力ある学校
- 生徒と教師が信頼関係を基盤に一体となって進む活力のある学校
- 生徒が自慢でき、卒業生が誇れる学校
- 保護者から信頼され、地域と共に生徒を育てる学校

2 目指す生徒像

- 自立して学び、考え、判断し、行動できる、個性と想像力豊かな生徒
- 自他の人権を尊重し、人としての思いやりや道徳心のある生徒
- 「あ・じ・み」（挨拶・時間を守る・身だしなみ）を主体的、組織的に実践できる生徒
- 基礎的な体力を身に付け、自分の体を大切にする、心身ともに健康な生徒
- 何事にも前向きに意欲的に取り組み、努力する生徒

3 目指す教員像

- 「チーム深川四中」として組織的に職務を遂行し、組織目標の達成に向けて一致協力する教職員
- 教育公務員としての自覚をもち、責任をもって職務の遂行に努める教職員
- 生徒のことを第一に考える教職員
- 学校経営への参画意識をもって職務に専念する教職員
- 自ら研修に励み、自己の資質・能力の向上に努める教職員



深川第四中学校の校章は【四】と【中】、中央に文化の象徴である【金ペン】が組み合わされています。何が幸福であるかを考え、誇り高い文化国家の再建に努力してほしいという想いが込められています。



「正しい姿勢」と「身体の軸」をつくるための体づくり講習会



地域で働く方々から「働くこと」



互いに讃え合い競い合う運動会

◇ 特色ある教育活動

- 「生徒・教職員に笑顔あふれる深川四中」を実現します。
- インクルーシブ教育の考えを基にした生徒理解と支援を行います。
- 「あ・じ・み」（あいさつ、時間を守る、身だしなみ）を合い言葉とした、落ち着いた学校生活を継続していきます。
- 講師を招聘しての「平和学習」講演会を実施します。
- 生徒に「生きる力」の育成を目指します。
- 体力の向上を目指したスポーツ活動の充実を目指します。



◇ 交通案内図



●交通機関

1. 都バス

- 「東22」 錦糸町ー東陽町ー東京駅北口
- 「東22」 錦糸町ー住吉ー東陽町
- 千石2丁目下車 徒歩3分
- 「錦13」 錦糸町ー州崎ー深川車庫
- 「錦13」 錦糸町ー州崎ー晴海埠頭
- 千石1丁目下車 徒歩1分

令和8年度 設置部活動

【運動部】

バレーボール(男・女) サッカー(男女)
バスケットボール(男・女) 野球(男女)
ソフトテニス(女) 水泳(男女)
陸上競技(男女)

【文化部等】

吹奏楽 美術 演劇 数学研究
ホームメイキング 科学 7組活動

令和 11～13 年度に校舎等の改修工事が予定されています。

江東区立深川第五中学校

住 所 〒135-0061 江東区豊洲 4-11-18

電 話 03-3531-7785

FAX 03-3532-5849

URL <http://fuka5-chu.koto.ed.jp>

校 長 代田 信之

副 校 長 児 玉 聡 教職員数 35 名



	1 年	2 年	3 年	合計
生 徒 数	209	204	203	616
学 級 数	6	6	6	18

◇沿 革

開校年月日	昭和 25 年	4 月 1 日	都立第三商業高等学校内に本校開設
	平成 13 年	6 月 3 日	新校舎落成記念式典
	平成 28・29・30 年度		東京都道徳教育推進拠点校
	平成 31 年度～		特別支援教室拠点校
	令和 2 年	11 月 21 日	開校 70 周年記念式典

◇教育目標

WE ARE PIONEERS

パイオニア魂（元気・根気・勇気）を根本に、くり返し、自らの課題に挑戦する姿勢・態度を身に付けさせ、知・徳・体の調和ある生徒育成をめざす。

◇学校経営方針

生徒の長所を伸ばし個々に応じたきめ細かい指導を実践し、子どもたちがみんながやく！教育活動を展開する。

- ① 生徒の主体性を重視した教育活動
- ② 公立学校としての使命
- ③ 脚下照顧の姿勢

◇本校の特色『パイオニア魂』

パイオニア隊の活躍



花いっぱい運動



盆踊り



町内もちつき大会



運動会



文化祭



校内作品展

各種行事

◎進路実績（令和7年度卒業生）計180名（公立50名、私立129名、その他1名）

◎部活動（令和7年度）

〈バレーボール〉江東区夏季バレーボール大会 第3位、第6ブロック夏季大会出場（男子） 江東区夏季バレーボール大会 出場（女子）
 〈ソフトテニス〉東京都中学校ソフトテニス大会 団体3回戦出場、個人3回戦出場（男子） 江東区秋季ソフトテニス大会 団体準優勝（女子）
 〈野 球〉江東区中学校野球部 連合夏季選手権大会 準優勝 江東区中学校野球部 秋季新人大会 出場
 〈女子バスケット〉東京都中学校バスケットボール新人大会 2回戦進出（BEST 32） 江東区中学校連合夏季体育大会 優勝
 〈男子バスケット〉江東区中学校連合夏季体育大会ベスト4 江東区中学校秋季バスケットボール大会 ベスト8
 〈サ ッ カ ー〉東京都中学校サッカー夏季大会第六支部代表決定戦 出場 江東区秋季大会 第3位
 〈剣 道〉夏季都大会 個人出場 団体ベスト32 第6ブロック秋季剣道大会 男子団体3位
 〈陸 上 競 技〉全国中学校陸上競技大会 男子110mH、棒高跳、女子四種競技出場 江東区連合陸上大会 総合優勝（男子） 準優勝（女子）
 〈吹 奏 楽〉東京都中学校アンサンブルコンテスト銀賞
 〈英 語〉江東区英語学会Playの部 区長賞
 〈美 術〉江東区英語学会プレイの部 背景画制作
 〈書 道〉第41回 高門宮杯日本武道館書写書道大観覧会 日本武道館賞、大会奨励賞等〈家庭科部〉作品展覧会に多数出品

◇交通案内図



◇交通機関

- ◆ゆりかもめ 豊洲駅より徒歩5分
- ◆東京メトロ 有楽町線 豊洲駅より徒歩5分
- ◆都営バス 「門19」深川五中前「海01」深川五中前 下車1分
「業10」「錦13」豊洲駅・豊洲4丁目 下車5分

江東区立深川第六中学校



住所 〒135-0023 江東区平野3-6-13

電話 03-3642-4868

FAX 03-3820-4706

校長 河合 富士夫

副校長 木曾 幹彦

教職員数 22名

	1年	2年	3年	合計
生徒数	69	52	56	177
学級数	2	2	2	6



◇沿革

昭和27年 4月1日 創立

平成19年 6月 北側第2グラウンド完成

平成19年12月 校舎・体育館耐震補強工事完了

平成23年12月

校舎大規模改修工事完了

令和 4年10月22日 創立70周年記念式典挙行

令和 8年 2月 校舎・体育館改修工事完了

卒業生総数：9,386名（令和 8年3月現在）

◇教育目標

- (1) 明るく素直で思いやりのある人
- (2) まじめに努力し物事をやり遂げる人
- (3) 正しい知識と判断力をもって行動する人
- (4) 絶えず創意と工夫に努める人

◇交通機関

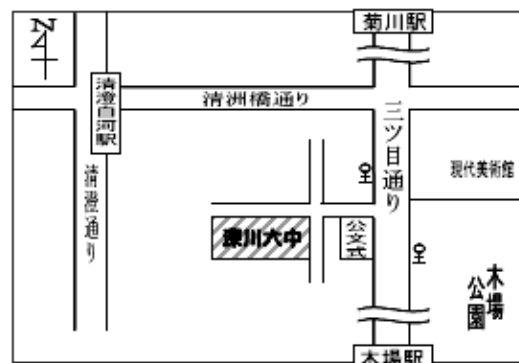
◆東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄大江戸線

『清澄白河』駅より徒歩8分

◆都営バス 業10・東20系統

『東京都現代美術館前』下車徒歩2分

◇交通案内図



たくましく生きる生徒を育成し、よりよい進路に導きます

◇特色ある教育活動

- (1) 確かな学力の定着と体力向上を図る教育活動
 - ・きめ細やかな学習指導「英語・数学（少人数・TT）」
 - ・放課後学習教室
 - ・各種検定試験（漢検、英検、数検）への挑戦
- (2) 地域の教育力を生かした教育活動
 - ・タウンウォッチング（地域調べ活動 7月）
 - ・江戸彫りなどの伝統工芸体験学習（3月）
 - ・富岡八幡宮例大祭等地域行事への参加（8月）など
 - ・地域青年部との交流（3月）
 - ・拉致問題を考える会（3月）
- (3) SDGsを基軸とした生徒会活動
 - ・環境を守るさまざまな活動（ボランティア清掃等）
 - ・生徒会新聞「下町っ子木場」の発行



1年 校外学習



2年 伝統工芸体験



3年 修学旅行（関西地方）



運動会（R8 墨田区総合体育館）

生徒一人一人が活躍できる行事・部活動があります

◇部活動（令和8年度）

バドミントン、バスケットボール、卓球、陸上競技
野球（新設）、和太鼓、書道、美術技術、吹奏楽

◇令和8年度の主な行事

- 5月 運動会（R8 墨田区総合体育館）
- 6月 移動教室（2年）、道徳授業地区公開講座
- 7月
- 9月 修学旅行（3年）
- 10月 文化祭（R8 江東区文化センター）
- 11月 職場体験（2年）
- 12月 作品展
- 1月 校外学習（2年）
- 2月 タウンウォッチング（1年）
- 3月 地域連携行事、卒業遠足（3年）



2年 職場体験



文化祭

令和9年度に給食室を含む校舎等の改修工事が予定されています。
改修工事期間中は給食が休止されます。(休止予定期間：夏休み頃～12月下旬まで)

江東区立深川第七中学校

住所 〒135-0001 江東区毛利 1-14-1
電話 03-3631-5990
FAX 03-3631-3902
校長 伊藤 毅
副校長 永井 圭樹
教職員数 17名



	1年	2年	3年	合計
生徒数	72	72	75	219
学級数	3	2	2	7



◇沿革

昭和34年 4月 1日 江東区立深川第七中学校創立
昭和34年 7月 1日 校舎落成 現在地に移る
昭和35年 6月 4日 校歌制定
平成元年12月20日 新校舎落成
平成20年度 ブレザー型標準服に移行



「今の自分」を認め、
「明日の自分」を信じ、
「前進」する

◇教育目標・経営方針

よく考える人になる（確かな学力の向上）

- ◆個々の習熟度に応じた「個別最適な学び」を推進します
 - ・「わかる授業」による基礎的・基本的な知識の確実な定着
 - ・A Iドリルやデジタル教材等の効果的な活用
 - ・自ら学習計画を調整しながら粘り強く学ぶ態度の育成
- ◆知識の定着と論理的思考力を高めるハイブリッドな学習指導を推進します
 - ・I C Tの利便性と、思考を深める紙媒体の良さを融合させた授業
 - ・学習場面に応じたデジタルとアナログを最適に組み合わせた指導

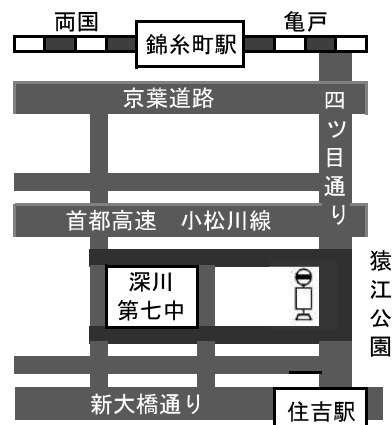
思いやりのある人になる（豊かな人間性）

- ◆人権尊重の理念を踏まえ、自分の大切さとともに、相手も大切にすることを「やさしい」生徒を育成します
 - ・ソーシャルスキルトレーニング、ファシリテーション手法を用いた合意形成スキルの体系的指導
 - ・人権教育と道徳授業の充実によるいじめを許さない心と態度の育成
- ◆充実した体験活動を通して生徒の心を育てます
 - ・異学年交流、「先輩を手本に」と自信をもって言える学校づくり
 - ・生徒の実態や発達段階に応じた価値ある体験学習の計画的実施
 - ・生徒が自主的・自律的に取り組む「心に残る」学校行事

健康で明るい人になる（健やかな心身の育成）

- ◆生涯にわたり豊かなスポーツライフを楽しむ力を育てます
 - ・運動の得意不得意にかかわらず、体を動かす心地よさや楽しさを体験できる機会の計画、実施
 - ・心身の健康を保持し、生涯を通じて運動に親しむ基礎づくりの推進
- ◆生きるために必要な健やかな心身を築く習慣を育成します
 - ・保健体育の授業を軸とした多様な運動機会の確保
 - ・心の健康やストレス対処への理解を深め、心身の調和を保ち、健康を自己管理する能力の育成

◇恵まれた立地・環境



- ◆JR総武線「錦糸町駅」徒歩7分
- ◆都営新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉駅」徒歩5分
- ◆都営バス「毛利2丁目」徒歩2分

◇主な教育活動

体育祭



修学旅行（広島平和学習）



◇部活動

バスケットボール部
女子バレーボール部
ソフトテニス部
卓球部 演劇部
音楽部 俳句部

校外学習



合唱コンクール



江東区立深川第八中学校

住 所 〒135-0043 江東区塩浜2-21-14

電 話 03-3647-0581

F A X 03-5690-4033

U R L <http://fuka8-chu.koto.ed.jp>

校 長 齊藤 泰弘

副 校 長 青柳 美由紀

教職員数 29 名



	1 年	2 年	3 年	特別支援学級	合計
生 徒 数	112	113	152	21	398
学 級 数	4	3	4	3	14

◇教育目標 『自主・自立』— 豊かな心をもち、自ら学び、心身が健康な生徒を育成する —

◇めざす生徒像

- 主体的に取り組む生徒
- 思いやりの心を持った生徒
- 向上心と自立心を持った生徒

◇めざす学校像

- 一人一人の確かな学力を伸ばせる学校
- 自分らしく安心して生活できる学校
- 非認知能力を高める学校
- 保護者から信頼される学校
- 豊かな人間性や社会性を育む学校



地域学校協働本部
との連携

◇本校の教育方針

1 豊かな心をもつ生徒の実現

○心の教育の充実○多様性への理解○お互いの個性や特性を認め尊重し合える心の育成○ボランティアマインドの育成

2 自ら学ぶ生徒の実現

○「生きる力」や「確かな学力」を身に付けさせる指導方法の創意工夫。

○ICT を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を意識した授業の展開。

3 心身ともに健康な生徒の実現

○「社会に開かれた教育課程」の実現○地域等の外部人材を活用○地域の大人が教育活動に関わり生徒の健全育成を図る。

◇特色ある教育活動

1 「確かな学力」の定着に向けて

○土曜・放課後学習教室の実施○定期考査前の質問教室の実施○朝学習（国語・数学・英語・読書）の実施とその習得状況確認のためのコンテスト（漢字・計算・英単語）の実施

2 心身の健康に向けて

○地域人材の活用○ボランティアマインドの育成○さまざまな出前授業の実施○生徒の意見を尊重した生徒会活動○専門家による演奏・演技等の鑑賞や体験

3 コミュニティ・スクールに向けて

○保護者・地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進○地域学校協働本部事業の活性化



運 動 会



修学旅行



特色ある教育活動

◇開設部活動

運動部：ソフトテニス、バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカー、女子バレーボール、ダンス、陸上競技

文化部：吹奏楽、美術、科学、家庭、連珠・オセロ、技術、7組クラブ



◇交通機関

- ◆東京メトロ東西線
「木場駅」A1 出口 徒歩 10 分
- ◆都営バス
「深川八中前」下車 徒歩 1 分
(錦 13 晴海埠頭・深川車庫行き)



職場体験

江東区立有明中学校

住所 〒135-0063 江東区有明2-10-1

電話 03-3527-8261

FAX 03-3527-8263

URL <http://ariake-chu.koto.ed.jp>

校長 西川 諭

副校長 江濱 悦子

教職員数 26名



～小学校・中学校施設一体型の校舎～

	1年	2年	3年	特別支援学級	合計
生徒数	104	106	120	15	345
学級数	3	3	3	2	11

◇交通案内図



◇交通機関

- 東京臨海高速鉄道（りんかい線）
東雲駅 下車徒歩10分
- 東京臨海新交通臨海線（ゆりかもめ）
有明テニスの森駅 下車徒歩10分
有明駅 下車徒歩10分
- 都営バス
（海01 門前仲町一東京テレポート駅前）
有明小中学校前 下車徒歩2分

すべての人の存在と尊厳を前提とし、互いを一人の人間として尊重する姿勢で教育活動を推進します。

#リスペクト

目指す学校像

- (1) 人権と社会モデルに基づく学校
- (2) 学習者中心の授業が実現する学校
- (3) 多様な生徒が共に学びインクルーシブな学校
- (4) 生徒の主体性が発揮される学校
- (5) 教職員が学び続ける組織としての学校



「学び続ける人」の育成にむけて

- ・単元や授業の冒頭で学ぶ意義や目的を明確に示す。
- ・振り返り活動を充実させ、自己の学びを客観的に捉える力を育成する。
- ・「こうとう学びスタンダード」及び「Ariakeスタイル」等を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進する。

「心豊かで、思いやりの有る人」の

育成にむけて

- ・社会モデルの視点を取り入れた授業づくりを行う。
- ・PBSの考え方にに基づき望ましい行動を認め称賛する文化を醸成する。
- ・生徒同士が互いのよさを認め合う関係づくりを推進する。
- ・生徒の振り返りや対話を通して、価値観の形成を支援する。

教育目標

学び続ける人
心豊かで、思いやりの有る人
明るく、健やかな人



【心魂プロジェクト】

※本校は一貫校ではありませんので、学校選択制については、通常どおり実施されます。

「明るく、健やかな人」の育成にむけて

- ・基本的な生活習慣の確立を図る（早寝・早起き・朝ごはん）。
- ・体力向上に向けた計画的な取組を行う。
- ・不登校の未然防止及び早期対応を推進する。
- ・安心して通える環境づくりを徹底する。

「特色ある教育活動」

- ・小中連携活動「小中ふれあいデー」、「中学生による読み聞かせ」「合同避難訓練」の推進
- ・外部人材の活用地域等との連携
東京有明医療大武道場を使用した柔道授業
「教職員が大切にしていること」
生徒に行動上の課題が見られた場合、それを「指導の対象」として捉えるのではなく、「新しい行動を教える機会」として捉え、環境の工夫によって望ましい行動を引き出します。

江東区立辰巳中学校

住 所 〒135-0053 江東区辰巳1-10-57
電 話 03-3521-8581 03-3521-8707
F A X 03-3521-8417
U R L <http://tatsumi-chu.koto.ed.jp/>



HP用二次元コード

校 長 夏目 隆

副校長 福原 正和

教職員数 17名

	1年	2年	3年	全校
生徒数	75	50	53	178
学級数	3	2	2	7

開校50周年記念
マスコット
キャラクター

たっつー&みっちー



広々とした本校校庭



◇沿革

昭和52年4月1日開校・江東区立深川第五中学校からの転入242名(第2学年)・新入生269名で開校。平成15年度には、国立教育研究所より「個に応じた指導の充実」研究指定校になる。平成20年度 江東区「幼・小・中連携モデル校」、平成22・23年度 江東区「体力向上推進モデル校」となる。平成22年度 幼小中連携事業に対して東京都職員団体表彰を受ける。

令和2・3年度 東京都教育委員会「人権尊重教育推進校」の指定を受け、令和3年度 オンラインで研究発表会。令和3年度 全国中学生人権作文推進校として法務省及び全国人権擁護委員連合会より感謝状を受ける。令和5年度 江東区「心の教育推進校」、令和6年度 「不登校対応教員巡回校」、令和7年度 江東区「ICT推進校」となる。令和8年度開校50周年記念式典

令和8年度 創立50周年を迎えます 記念式典 11月7日(土)開催

◇交通案内図

交通機関

◆東京メトロ 有楽町線

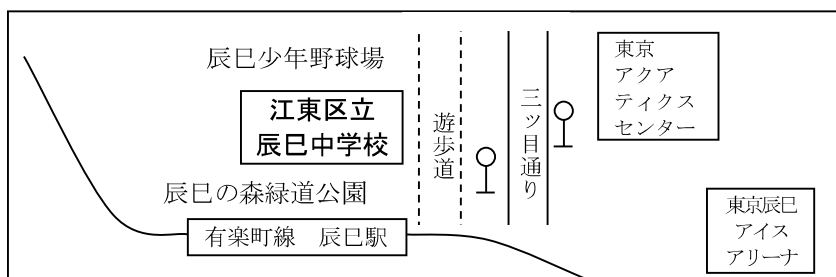
「辰巳駅」下車 徒歩3分

◆都営バス

辰巳駅前下車徒歩1分

錦13乙系統深川車庫前行き

門19 系統深川車庫前行き



(1) 教育目標

一人一人の生徒が人権尊重の精神に基づき、豊かな未来を創造し、平和な国際社会の形成者となるために、次の生徒像を目指して教育する。

○ 健康でたくましい人 ○ 進んで学ぶ人 ○ 礼儀正しい人

○ 思いやりのある人 ○ 責任を果たす人

今年度は開校50周年を記念して「Let's Live Strong Together!」を掲げ「ともにたくましく生きる!」をテーマに、生徒はもちろん教職員もともにかがやく教育活動を展開していきます。

(2) 特色ある教育活動(一人一人に寄りそった指導)

「自己肯定感の育成」→「明日も学校に行くのが楽しみ」と思える学校

少人数を生かし、そしてICTの活用により、生徒一人一人を大切に育てる学校です。

いじめや差別を許さない! 「いじめゼロ 笑顔満点 Every Day!」

全教職員で特別の教科 道徳教育を実践 「他者を思いやる心」を育む!

①家庭ノートによる担任を中心としたきめ細かい指導

毎日、全校生徒が家庭ノート(自分ログ)を書き、担任からのアドバイスを受けています。

②少人数制でわかる授業“16～18人での授業も”

「数学」「英語」はデジタル教科書を活用し、全学年全クラスを2つないし3つに分けて少人数による学習指導を行っています。生徒一人一人に応じた指導を行っています。また、数学、英語では区の学びスタンダード強化講師が配置され、きめ細かく分かりやすい授業を行っていることから「質問しやすい」「わかりやすい」と好評です。

③全校生徒一人一人が活躍する機会では常に一人複数役

～校外学習・宿泊学習・運動会、大鷲祭(文化祭)など～

- ・定期考査前、放課後には、学習教室を実施・読む力・朝の読書活動を実施
- ・総合的な学習の時間は「自己のこれからの生き方」とし、キャリア教育を実施
- ・ボランティア活動の推進(小学校との交流・地域清掃への参加)

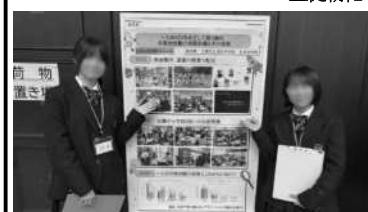
委員会も係も全ての活動に全員の活躍が必要とされます。

(3) 部活動の練習時間・場所はしっかり確保!

- ・卓球部 ・女子ソフトテニス部 ・男女バレーボール部 ・陸上競技部
- ・男子バドミントン部 ・吹奏楽部 ・美術部 ・コンピューター部



生徒朝礼



全国いじめ問題子供サミットへ参加



運動会練習「準備体操」



避難訓練「屋上避難」

令和 9～10 年度に校舎等の改修工事が予定されています。

江東区立東陽中学校

住 所 〒 135-0016 江東区東陽 2-1-8
電 話 03-3645-2381 F A X 03-5690-4034
U R L <https://toyo-chu.koto.ed.jp/>

校 長 小林 一志
副 校 長 山田 陽子
教職員数 22 名



	1 年	2 年	3 年	合 計
生 徒 数	109	84	85	278
学 級 数	4	3	3	10

◇沿 革

昭和 60 年 4 月開校

令和 6 年 11 月 9 日 開校 40 周年記念式典

活気みなぎる東陽中

◇教育目標

- ・よく考え
すすんで学ぶ生徒
- ・思いやりがあり
協力する生徒
- ・ねばり強く
努力する生徒
- ・健康で明るい生徒

◇あいさつが響き合い 心を耕し 主体性を育む学校

- ◆元気でさわやかな笑顔で
あいさつができる学校
- ◆学習意欲の向上
 - ・わかる授業、できる授業の実践
 - ・ICT機器を用いての授業と家庭学習の充実化
令和 7 年度 ICT 教育推進校
 - ・キャリア教育の推進
- ◆心を耕す道徳教育の実践
 - ・人を思いやる心の育成
 - ・いじめの撲滅
 - ・読書活動の推進
- ◆委員会活動の活発化
- ◆リーダーシップとフォロワーシップの育成



◇合い言葉

東陽魂 (自立と貢献)

開校 40 周年記念てぬぐいの デザインを発表する生徒会



TOYO寺子屋 (キャリア教育)



職場体験事後学習発表会 (キャリア教育)



わかる授業・ できる授業の実践



朝のあいさつ



運動会



文化発表会



落ち草掃きボランティア



◇進路実績

令和 7 年度の進路状況 (卒業生 96 名) 個に応じた進路指導実績
国公立高校進学 (40 名) 私立高校進学 (56 名)

◇交通案内図



◇交通機関

- ◆東京メトロ東西線「東陽町駅」
下車 徒歩 10 分
- ◆都営バス 都 07・東 22 系統
「東陽操車所前」下車 徒歩 5 分
- ◆都営バス 錦 13 甲系統
「東陽 1 丁目」下車 徒歩 5 分

文武両道で地域の方々に愛され、
地域に育てられてきた学校です。

◇部 活 動 令和 8 年 4 月 1 日現在

○文化系 (6)

アトワラー華道、科学、吹奏楽
創作、家庭科

コンピューター(令和 8 年度募集なし)

○運動系 (7)

バスケットボール(男子・女子)、野球
陸上競技、サッカー、バドミントン、ダンス

江東区立有明西学園（義務教育学校）

住所 〒135-0063 江東区有明1-7-13
 電話 03-3527-6401（前期課程）6403（後期課程）
 FAX 03-3527-6407
 URL <http://ariakenishi-gakuen.koto.ed.jp>

校長 井熊 豪

副校長 石神 智子・山内 隆弘・長塚 祐輔

教職員数 79名

（5月1日現在）



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	前期計	7年	8年	9年	後期計	合計
児童・生徒数	155	113	115	156	154	175	868	121	117	106	344	1212
学級数	5	4	4	5	5	5	28	4	3	3	10	38

◇校章



【校訓】 「かいっぱい ～Do my best!～」
 【教育目標】 ○優しい人 ○学び深める人 ○挑戦する人

【アクセス】

- 東京臨海新交通臨海線（ゆりかもめ）
有明テニスの森駅 下車徒歩 5分
- 東京臨海高速鉄道（りんかい線）
国際展示場駅 下車徒歩 15分
- 都営バス（海01）有明テニスの森 下車徒歩 3分



有明西学園は、1年生から9年生までの子どもたちが一体となって共に学ぶ、江東区で唯一の義務教育学校です。

教育方針

小中一貫の取組 9年の系統的な学び

- ・前期課程、後期課程が一体となった学園行事等
- ・前期課程における教科担任制、交換授業等の導入
- ・5・6年生の50分授業の実施
- ・5年生からの部活動への参加

有西授業スタイル

個別最適化された
学びの充実

＜ICTを効果的に活用した授業＞

- ・一人一人の能力や個性を大切に授業
- ・児童生徒が「主体的」に取り組む授業
- ・「考える」「表現する」ことを大切に授業

特色ある教育活動

木育・平和教育

「校舎・自然」「他者」を大切にするこどもの育成

- ・【木育】校舎を知る→学習から木に触れる
→檜原村自然体験教室（5年）→集大成としての長和町移動教室（8年）
- ・【平和教育】学級の友達を大切にする日常の指導から学校全体の仲間を思いやる指導に
→集大成としての長崎修学旅行（9年）

SDGsの視点
を生かして

スマイルプロジェクト

1～9年生による
縦割り班活動

- ・日常的な異学年交流
- ・スマイルタイム（縦割り班活動、全校遠足等）
6年生：班長 7～9年生：アドバイザー

体験学習の充実

- ・共生：障害者スポーツ等の体験、日本語学級との連携
- ・課題発見、解決力の育成：地域を題材とした体験的学習
地域企業施設等との連携による授業



有明西学園に関わる全ての方が Ari-nishi Family です！